

テーマ 理解と実践
青少年にロータリーができる事

テーマ：理解と実践 青少年にロータリーができる事

日時：2010年2月13日 午前9:30～

場所：守口文化センター「エナジーホール」

参加登録：374名

出席者：248名

IM実行委員長

多田 正司

(守口RC)

本年度のIM第3組はロータリーの奉仕活動の中でも大きなウェイトを占める青少年奉仕に的を絞り、青少年を取り巻く社会情勢が大きく変化していくなか、現代の子供たちが何を考え、何を求めているかをもう一度われわれロータリアンが理解し、奉仕活動に如何に生かしていくかを考える機会として首題のテーマを設定いたしました。

昨年夏以降、大谷G、西垣G補佐ご指導のもと、私ども守口RCがホストクラブとなり、管内11クラブのブロックごとにそれぞれ特色ある取り組みをし、本日その成果や取り組み状況の発表を行いました。

今回は講師の先生方による基調講演に替え、守口RCが共催しております「守口市中学生スピーチコンテスト」での優秀作品をDVDや入賞者ご本人にも登場いただき、子供達の生の声を通して彼らの考え方や行動を理解する一助といたしました。



また、ブロック別では

「地区主催の青少年事業について」

(枚方・交野・くずはRC)

「青年の組織活動を通して思うこと」

(寝屋川・香里RC)

「モンゴルプロジェクト」

(門真・守口イブニングRC)

「体験研修3日坊主の会」

(大東・大東中央・四条畷RC)

をテーマに、実践活動を踏まえた青少年奉仕の現状や取り組みの発表を戴き、それらを今後の各クラブの活動に是非とも生かして行きたいと思いま

す。

閉会式では、次年度ホストクラブ（寝屋川RC）の紹介の後、西垣G補佐のご発案で新会員に登壇いただき、大谷Gからの激励のお言葉と共に、参加者全員での「手に手つないで」の大合唱で盛会裡に終了しました。

その後、全員で軽食を囲みながらお互いの懇親を深め、和やかなうちに散会しました。

